

平成29年6月15日

各位

株式会社 紀陽銀行
日本ユニシス株式会社
紀陽情報システム株式会社

紀陽銀行、日本ユニシス、紀陽情報システムの連携による
「紀陽IT導入支援コンソーシアム」の設立について
～お客さまの生産性向上をITのチカラで支援します～

株式会社紀陽銀行（頭取：松岡 靖之）は、日本ユニシス株式会社（代表取締役社長：平岡 昭良）および紀陽情報システム株式会社（代表取締役社長：泉 清映）と提携し、お客さまの生産性向上を目的に「紀陽IT導入支援コンソーシアム」を設立しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 「紀陽IT導入支援コンソーシアム」概要

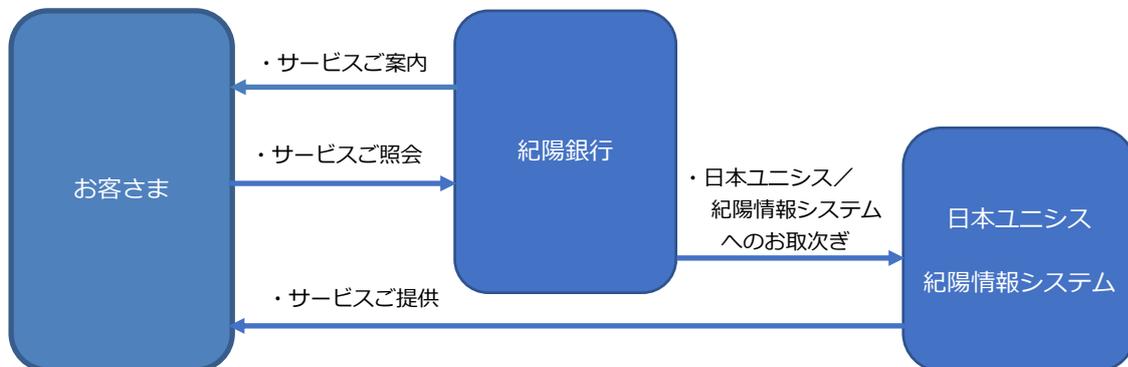
本コンソーシアムは、お客さまの生産性をITツール（ソフトウェア、サービス等）によって向上させる目的で設立し、経済産業省の2016年度2次補正予算事業である「サービス等生産性向上IT導入支援事業」における「IT導入支援事業者」（幹事会社：紀陽銀行）として採択されました。

なお、「IT導入支援事業者」の登録は、関西の金融機関で初めてとなります。

紀陽銀行は、日本ユニシスおよび紀陽情報システムのITツールを使い、お客さまの生産性向上を実現する取り組みを開始します。

本コンソーシアムの設立により、三社一体となって多様なニーズを的確に捉え、適正なITツールをご案内、導入支援することで、お客さまのご発展、さらには、地域経済の活性化をめざします。

<スキーム図>



2. 主なITツール

(1) 保育業支援クラウドサービス「ChiReaff Space®」(開発元：日本ユニシス)

タブレット端末やPCを使用して、保育士によるこどもの成長記録の作成(顧客管理機能)を容易にし、4万人の成長データに基づく成長段階に適した指導計画の立案(業務計画策定機能)を簡素化するほか、こどもの出欠状況や時間管理、保育士間の伝達事項の共有(コミュニケーション機能)などをサポートするクラウドサービスです。

(2) 外国人観光客向け接客支援ナビゲーションシステム「WaviSaviNavi®」(開発元：日本ユニシス)

タブレットやスマートフォンでアプリを利用することにより、飲食店と外国人観光客とのコミュニケーションを円滑化する多言語接客支援サービスです。多言語に対応したオーダーシートによる注文が可能で、従業員の業務効率を改善できます。

また、ログを採取し、顧客分析や売れ筋分析等のマーケティングを行う機能があり、商品の売れ筋等を把握したメニュー開発に役立てることもできます。

(3) グループウェアシステム「S i C S」(開発元：紀陽情報システム)

会議室や公用車・共有機器などの予約状況を一元管理できる施設予約機能や、同課・同班メンバーおよび会議室のスケジュールをリアルタイムで共有できるスケジュール機能、その他掲示板機能などを保有するグループウェアシステムです。

上記ITツール以外でも最適なITツールのご案内が可能です。

※ChiReaff Space、WaviSaviNavi は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

(ご参考)

IT導入補助金について

ITツールを導入されるお客さまには、以下の条件で経済産業省の補助金が交付されます。

■対象範囲：ソフトウェア、サービス等(ハードウェアは除く)購入金額における3分の2
(上限100万円、下限20万円)

■申請期間：平成29年6月30日(金)17:00まで

■対象者：日本国内に本社および実施場所を有する中小企業・小規模事業者

■補助予算額：100億円

以上